

「企業主導型保育事業の円滑な実施に向けた検討委員会」御中

20190225

NPO 法人ファザーリング・ジャパン

理事 高祖常子

【企業主導型保育についてのコメントや感想など】

ファザーリング・ジャパンのメンバーから意見を集めました。保護者側と、運営側の意見もありましたので、以下お伝えさせていただきます。

意見・要望など

保護者側

<良かった点>

- ・授乳など低年齢児も保育所と勤務先が近い場合は対応がしやすい。(急な発熱や病気などによるお迎えも同様)
- ・送り迎えなどの時間が短縮でき、仕事をする時間が長くとれる。
- ・保育園を利用していない従業員も、園児の歌声などが漏れ聞こえてくると癒される、またお散歩に出かける様子を見るとほっこりする。
- ・身近にあることで体調があまり良くない時にも昼などに子どもの様子を見に行ける。
- ・通勤は大変だが、側にいる安心感がある。
- ・近所の保育園に入れるまで、働けないかと思っていたので、助かる。
- ・同じ職場のお子さんも一緒なので、職場でも共通の話題が話せたりして、コミュニケーションもよくなった。
- ・勤務先の保育園のため、上司や同僚から子育てしながら働くことを受け入れてもらいやすい。
- ・急な仕事が入った時にも預けられた。
- ・ハロウィーンなど、社員と子どもたちの交流もはかれ、若い人も安心して、自社に応募してくれる。
- ・日曜、祝日にも預かってもらえ、給食も提供があるので助かる。

<困った点>

- ・自社従業員以外(地域から)の応募の場合、「希望者は自分(父母どちらかが)が勤める企業と提携を結ばなくてはならない」という規定に突然変わった。

運営側

<良かった点>

- ・保護者様が従業員枠の場合、周知する事柄をクライアントに伝えれば統一が図りやすい。
- ・企業のカラールと運業者で併せたオリジナリティーのある園が多い。
- ・企業様と一緒に行事を考えることができ勤務中に参加や見学が可能(小規模園ながらクライアント同一の園であればまとまって運動会や動植物園遠足など大型のイベントも開催可能)

<困っている・検討が必要>

[周知・広報]

- ・企業主導型保育事業を知らない方々にとっては、「認可外保育施設」に区分されることもあり、良いイメージをあまりもたない母親も多いと思われる。知ろうともされない。(イメージアップが必要)
- ・各区役所の保育所相談の窓口からも、企業主導型保育園の紹介をもっと行ってもらい、多くの方に認知していただきたい。
- ・行政からの紹介がないので年度代わりの園児確保が非常に困難である。
- ・待機児童を減らすための目的で企業主導型保育園を開園しているが全く達成されておらず、行政との繋がりもない。今後継続的に園児を獲得するためには、行政との繋がりが必須。
- ・マスコミが企業主導型保育園を取り上げて頂けるのは良いがマイナスの報道が多い。プラスの報道をして頂けるようにこちらからの働きかけが必要。
- ・いまだに企業で働いている人しか預けられないと思っている人が多い(企業主導型園が少ない自治体は仕組みを把握していない。よって地域枠を設けた場合不利になる気がする)

[保育環境]

- ・企業主導型保育園で0～2歳までは手厚い保育ができ理想の保育ができて、とても良い環境だが、建物の構造上や園庭がない事などを考えると、子どもの成長の為には3歳以上児は認可園で過ごす事が好ましいと思う。しかし認可園に3歳以上児の受入れ先が少ない。福岡市は幼稚園との連携を発表しており、繋がりが必須。
- ・少人数制が多く、0～2歳の乳児保育が多いため、成長を伝える行事などはしづらい。託児に近い環境になりやすい。
- ・ビル内に設置するケースが多いため、階数が高いところの設置も多い。17階、25階などのところもある。設置する際の補助などがあると1階などにも作りやすい。
- ・階段など環境が保育園用に作られていないので、スロープの不足や階段の段差など子どもの高さにあっていない。
- ・園庭やプールなどがなく、のびのびと遊べる環境が整っていない。

[保育士・研修]

- ・企業のニーズによっては、保育士の確保が難しい場合もある。6 時開園のところもあり、子どもの数が少なくても、決まった保育士数、事務員数を確保しないといけないため、足りない運営企業は多いように感じる。
- ・研修など認可外はNGなものが多い。企業主導型主導で研修を行ってほしい。東京大阪だけでなく九州など地方にも積極的に来てほしい。
- ・勤務先の人間関係なども通常の保育園とは違い関係してくる場合もあるので配慮が必要。

[運営など]

- ・認可などに比べて、補助金の仕組みがはっきりしない。 保育士への補助金などが、出ること出ないのか、今年度も発表が遅かった。
- ・助成金の入金が遅くて資金計画が立てられない。
- ・問い合わせをしても、電話が繋がらない。
- ・「処遇改善加算について聞いても、回答が遅い」などの児童育成協会側の説明不足やリソース不足により、相談したくても相談ができなく、自治体と連携していないので、自治体にも相談できないことも困っている。
- ・助成スケジュールや設置後の経営リスク（資金面、保育士の採用面、園児募集等）についての知識があまりなく、参入してみたが運営に苦労している事業者が多いように感じる。